

11/12 五、複

自分の闘争としての仕事を「死刑のはんじを押すだけ」ユースになる」などと嘯諷し、批判を浴びた葉梨慶弘法相が辞任しました。岸田文雄政権では、統一協会との関係について直に逃れができないくなつた山際大志郎前経済再生担当相が10月24日に辞任に追い込まれてこます。自らの行動について關懷としての資質が問われ、3週間足らずで關僚が辞めるのは異常事態です。8月の内閣改選で「経験と実力を兼ね備えた」として適格性が問われる關僚を任命した首相の責任は極めて重大です。

主張

## 葉梨氏の法相辞任

す。「法租界のほうは、朝、死刑の邊りを押つて、晝のリュースのトライとなるのは、もう二度だらけじう地獄な役職なんや。」などと語りあつた。

国家権力が人の命を奪う死刑制  
度への深刻な認識を欠落させた許  
し難い発言です。死刑はいつたん  
だけ」との認識だ、都内のパート  
ィーで4回、地方の会合で複数回  
行っていました。持論である以上

## 任命した首相の責任問われる

れます。山川の勅命についで閣  
僚としての御願が認められ、3週間  
足らずとて閣僚が辞めるのは異常  
事態です。8月の内閣改造で、「經  
験と実力を兼ね備えた」といつて  
適格性が問われる閣僚を任命した  
首相の責任は極めて重大です。

死刑制度を冗談の材料に

執行されてしまえば、後になつて誤判や冤罪が明らかとなつても取り返しがつかない制度として批判され、世界では廃止が大勢になっています。

は疑う余地はありません。8月10日の内閣改選で森喜田を「2度」といたり法務副大臣を歴任し、衆院法務委員長としても豊富な法務行政経験を持つ」と持ち上げて、初入閣させた岸田国相の任命責任が厳しく問われます。

森喜田が先のパーティーで「今しかし当初、國部分の発言撤回を

「法相になつても、お金は渠まらない、なかなか票も入らない」との森喜田の発言が、國際ポストなどを含めれば段々としかみなしでないと批判が集まりました。

しかし、この発言撤回をしてしまったことによって、森喜田は「2度」といふ形で内閣に残ることとなりました。

れなくなつたためです。葉梨田と  
同じ鶴田派に所属する寺田稔總務  
相も政治資金問題をめぐら闇棧詐  
任を求める声が相次いでいます。  
秋葉齋也復興相も不透明な政治資  
金の流れが追及されています。駒  
盛を抱える闇棧を擁護する政権は  
國民の信頼を失うだけです。

田中はなぜか「統一教会の問題にばかりからてしまつた」とやつたのが大問題です。首相は内閣改編の際、法相の仕事をして、野瀬義雄が法相となりの不法行為の相談や被害者救済に手を貸していくことを考へ

「お前は金業のことを何でも  
しゃべれがしない、政治資金はな  
かなか揃わぬ」と半蔵をしおれ  
した。口元に手の発音を揃回し  
たものの、國旗としての資格のな  
い近畿が離りにかかるなりや。